

令和3年度の文化芸術関連事業の状況

「今できる施策」を実施

- 今年度においても、新型コロナウイルス感染拡大により、県が主催するイベントは大幅な見直しとなり、文化芸術活動は多大な影響を受けている。
- そのような中、県においては国からの補助制度を活用し、「今できる施策」を実施。コロナ後の活発化した文化活動を見据え、支援を行っている。
 - ・文化施設への支援：タブレット型検温器・自動消毒液噴射器・空気清浄機の配備
トイレの抗菌改修など環境整備を実施
 - ・文化観光への支援：サマータクシーの実施
徳島市内各所の船着場からクルーズ船で文化施設を周遊
 - ・文化活動への支援：コロナ禍において地域で実施される対象事業への助成

「awaアワーproject」

徳島文化芸術ホール（仮称）整備事業

「徳島市立文化センター」に代わる新しい施設として、徳島市において、規模や機能を拡充させた「新ホール整備」に向けた検討を行ってきた。

R2.9 徳島市が「緊急要望書・新ホール整備の早期実現に向けて」を県に提出

R2.10 県市協調未来創造検討会議（会長：知事、副会長：市長）が発足
これまでの徳島市における「新ホール整備」に向けた様々な検討の成果を基本として、県市協調によるホール整備に向け検討を開始

R2.12 「県市協調新ホール整備基本方針」策定

R3.3 「県市協調新ホール基本計画」策定

「徳島の文化芸術の力」を結集し、更なる文化活動の促進や県内外の優れた文化芸術の鑑賞機会の創出を図るため、令和8年の開館を目指し、新たな文化施設の創造・発信拠点を整備する「徳島文化芸術ホール（仮称）整備事業」を実施。

今後の方向性

文化は県民の心の豊かさを育み、魅力ある地域づくりにおいても大きな役割を果たすものであり、「文化の灯」を消さないよう、ニューノーマルに対応した新しい文化芸術活動の創造を図るとともに、「あわ文化」の継承・発展に向けた取組みを支援する。